

2019年 6月13日

日本建築家協会 支部長 各位

JIA 環境建築賞タスクフォース
主査 宮田多津夫

第20回 JIA 環境建築賞 応募促進ご協力をお願い

拝 啓

ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃 JIA 環境建築賞にご支援を頂き、感謝しております。さて、第20回 JIA 環境建築賞は先日 JIA マガジン 363号に募集要項を同封させて頂きました通り、現在、募集中となっております、要項はホームページ上でも公開されております。<http://www.jia.or.jp/member/award/environment/>

日本全国の各支部には優れた建築家が地域の気候風土を生かし個性のある環境建築を作っていることと思います。その方たちをご推薦いただき、画一的な省エネ建築ではなく地域性豊かな環境建築を JIA から発信したいと考えております。その趣旨に賛同いただき、応募促進にご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

南北に長く気候風土の異なる我が国において、地域の特色を反映した優れた環境建築が多く存在すると思われまます。地域の目で特色ある作品を発掘していただくため、支部としてのご対応をお願いする次第です。

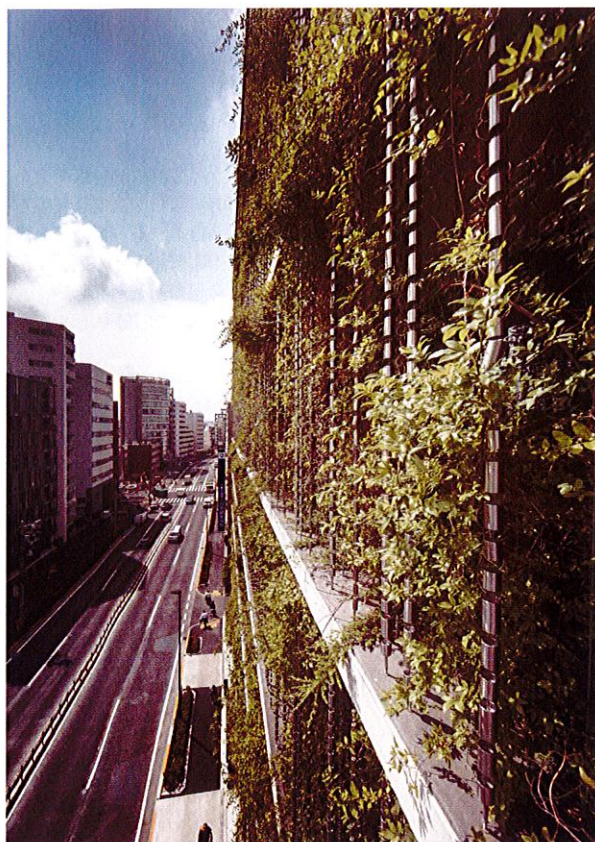
ご不明の点などあれば、事務局（担当：北澤）、もしくは募集要項付きチラシに記載されております、JIA 環境会議 各支部担当委員メールアドレス宛メールにてお問合せ下さい。

応募登録の期日は 2019年8月1日（木）、応募図書の提出期日は 2019年8月19日（月） となっております。

ご多忙の中恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具

第20回 JIA 環境建築賞



第19回一般建築部門最優秀賞「コープ共済プラザ」設計者：羽鳥達也（株式会社日建設計）／建築主：日本生活協同組合連合会／施工者：株式会社フジタ東京支店／撮影：野田東徳（雁光舎）

東日本大震災以降の日本は、強風を伴う台風、大雨による地滑りや洪水など未曾有の大災害に苛まれています。市民の安全安心を確保するための建築の考え方も大きく変わらなくてはいけない時代に突入しました。多くの学者たちがそれらは地球温暖化の急速な進行とエルニーニョ現象がその一因と唱えています。一方、福島原発問題を含め、将来のエネルギーに対する不安はなかなか消えません。このような不安定な状況の中でも建築の使命である安全安心を確保することは必須であり、様々な対応策が迫られています。このように建築には非日常の災害に備えながら、一方で「日常の生活を豊かにする」ための視覚的にも体感的にも満足出来るアイデア出しが重要であると考えます。建築は強靱なだけでも環境的性能の数値が高いだけでも物足りない感があります。そこには新鮮な感覚と美的な世界が繰り広げられることをどうしても期待してしまいます。

SDGs が掲げる環境目標については小学校教育の場でも登場するなど環境問題は市民生活の中にすでに深く浸透しつつあります。また、既存建築を再生するプロジェクトも急速に増加しており、ストックとしての建築の価値も十分に認められる社会となってきました。

建築は制約が多ければ多いほど良いものに収束すると考えています。時代がこれだけの条件を要求しているわけで、その中での建築は良いものが生まれて然るべきと思います。ここ数年、「自然と共にある生活」という生活意識の向上を謳いながら応募を募ってきましたが、多くの建築作品が「生活を豊かにする」アイデアを期待以上に提示してくれました。2000年にスタートしたJIA環境建築賞もこの度、第20回という大きな節目を迎え、環境建築の集大成となるべき建築を広く募集したいと思います。是非奮って応募ください。（審査委員長 安田幸一）

登録開始：2019年5月1日（水）

登録期日：2019年8月1日（木）

提出期日：2019年8月19日（月）

<http://www.jia.or.jp/member/award/environment/>

お問合せ・資料送付先

JIA 環境建築賞事務局（担当：北沢 / mail : saa@jia.or.jp）
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 4F
TEL : 03-3408-7125 / FAX : 03-3408-7129



第20回 JIA 環境建築賞 [募集要項]

1. 目的

日本建築家協会（以下、本会もしくはJIA）は、日本国内における、その年度の優秀な環境建築作品を選定、記録し、その活動と業績を広く社会に伝えることにより、文化としての建築の価値を拡める事を目的として、「優秀環境建築選」の選定を行います。さらに優秀環境建築選の中から、特に環境建築の向上に寄与し、建築文化・環境技術の両面において総合的な価値を發揮した環境建築について、「JIA 環境建築賞 2019 最優秀賞」、「JIA 環境建築賞 2019 優秀賞」を授与します。また優秀環境建築選作品は、JIA 日本建築大賞、JIA 優秀建築賞、JIA 新人賞、JIA25年賞のすべての受賞作品と共に「JIA 建築年鑑 2019」に収録します。

2. 概要

一般建築、住宅の二つの部門を設け表彰します。総合的に高い水準を有する環境建築作品（改修を含む）を広く公募し、環境に関して高度な見識を持つ建築家を中心とした公正なる審査委員会により「日本建築家協会 JIA 優秀環境建築選 2019」を選定し、その中から我が国の環境建築を代表するその年の最も優れた作品を選び、「JIA 環境建築賞 2019 最優秀賞」、「JIA 環境建築賞 2019 優秀賞」とします。審査委員長の趣旨文を参考に応募ください。

3. 応募作品の対象

2018年3月末までに日本国内で竣工し実在する建築作品。改修を含みます。また、同一作品の応募は1回限りとし、作品の他賞への受賞歴は不問です。

4. 応募資格

- (1) 応募者は本会正会員または日本の建築士資格を有する、あるいは、海外の相当する資格を有する者である、当該作品の主たる設計者となります。応募作品の数は制限しません。
- (2) 審査委員が直接かかわった作品は応募できません。また、審査委員と関係の深い方（師弟・協同者、または同一組織等に所属する方）の作品については、当該審査委員は、当該作品の評価・評決・講評・現地審査等に参加しません。
- (3) 応募後の設計者、協同者の変更は一切受け付けませんので、応募時に十分関係者の調整を行って下さい。

5. 審査委員

安田幸一（東京工業大学）：委員長
小堀哲夫（小堀哲夫建築設計事務所）
佐々木邦治（丸の内熱供給）
菅健太郎（Arup）
彦根アンドレア（彦根建築設計事務所）
村田博道（森村設計）

6. 応募料（一般建築部門・住宅部門 共通）

応募作品1点につき3万円（JIA正会員は1万円）応募諸費用は応募者負担となります。

7. 登録方法と期日

- (1) 登録開始：2019年5月1日（水）
応募を希望する方は、設計者を応募代表者とし、登録用紙（JIA HP からダウンロード可）に必要事項を記入して下さい。
- (2) 登録用紙を同封し、応募料を現金書留でJIA本部「環境建築賞事務局」にお送りください。
- (3) 登録期日：2019年8月1日（木）【消印有効】

8. 応募図書（書類及びDVD）

- (1) JIA 環境建築賞登録用紙（A4判）
- (2) 建築士免許あるいは海外の相当する免許のコピー（JIA正会員は不要）
- (3) 検査済証のコピー（確認申請不要物件は、不要理由を明記した文章）
- (4) 次の必要事項をA3判（横使い）片面4枚以内にまとめ、(1)(2)(3)の書類とともにレール式（あるいはスライドバー）ホルダーなどでまとめてください。（ページ毎に透明ポケットに入れる必要はありません。）

- ①設計図面（配置図・平面図・立面図・断面図・主要矩計図）
- ②写真5枚以上10枚以内
- ③建物概要（建物用途・階数・建物の高さ・面積表・構造種別など）
- ④2000字以下の設計要旨
- ⑤作品の所在地を示す地図

註1) ファイルは次の順番でまとめてください。表紙はつけなくてください。
1枚目：(1) 登録用紙、2枚目：(2) 免許コピー（JIA正会員は不要）、
3枚目：(3) 検査済証コピー、4～7枚目：(4) 必要事項

(5) DVD データ

- ①「提出書類(1)～(4)」の全てをPDF化したもの
- ②応募作品概要シート記入済Excelデータ※註2（JIA HP からダウンロード可、エクセル定形書式で、エネルギーデータ等の入力欄があります）
- ③任意追加資料PDF（CASBEE、BELS、その他、作品の特長を示すため、応募者が提出を希望する任意追加資料をPDF化したもの）

註2) 応募作品概要シートのエネルギーデータについて

「住宅部門」に限り以下の通りとします。

- ・エネルギーデータ入力表は空欄で応募して差支えありません。
- ・応募住宅の特長を示すのに有益と思われる場合に任意に記載してください。
- ・ただし、第一次審査の通過者は第二次審査の3日前までにエネルギーデータ入力済みのシートを事務局にメール添付により送信し、併せて当該シートを現地に持参して下さい。（住宅の種類等によっては他の資料に置き換えることを可とするケースもあります。事務局にお問い合わせ下さい。）

9. 応募図書の提出期日

2019年8月19日（月）【郵送等又は持込にて必着】

10. 選考の方法

- (1) 第一次審査：提出された応募作品を、JIA 環境建築賞審査委員会において審査し、「JIA 優秀環境建築選」として12作品以内を選定します。※2017年度より前年までの「入賞」が「優秀環境建築選」に変更になりました。
- (2) 第二次審査：選定された作品は、「JIA 環境建築賞 2019 最優秀賞」、「JIA 環境建築賞 2019 優秀賞」の候補作品として現地審査を行います。
- (3) 第三次審査：第二次審査の結果をもとに公開審査を行い、一般建築部門、住宅部門それぞれ「JIA 環境建築賞 2019 最優秀賞1点以内」「JIA 環境建築賞 2019 優秀賞1点」を決定します。2019年12月7日（土）を予定しています。
- (4) 応募要件について虚偽があった場合は応募資格を喪失します。また、以下の要件について、受賞後に基準に合わない事が明らかになった場合は賞を取り消す事があります。

- ・検査済証を取得していること
- ・構造の安全性を満たしていること
- ・地域環境・近隣環境と良好な関係を保っていること
- ・既に公表されている建築と同一または類似のものでないこと
- ・第三者の著作権の権利を侵害するおそれのないこと
- ・訴訟、トラブルなどの対象となっていないこと

その他、当要項の条件に違反したものと

11. 発表と表彰

- (1) 受賞者は公開審査会の中で審査結果を発表します。
- (2) 表彰対象者は、設計者、建築主、施工者の三者となります。
- (3) 表彰式は2020年4月以後を予定しています。

12. その他

応募にあたり、以下のことを予めご了解ください。

- (1) 応募図書の提出期日（8/19）を過ぎてからの登録内容の訂正・追記はできません。登録後、提出期日までの期間のみ訂正・追記を受け付けます。
- (2) 応募作品については、応募図書がJIA-KIT 建築アーカイヴス等にデジタルデータとして保存される予定です。
- (3) 応募作品の環境データは、JIAの環境建築研究の基礎データとなります。物件を特定できない表現方法により、グラフや表に記載・公表されることがあります。ただし、物件を特定する公表は、応募代表者の承諾を得たものに限定します。
- (4) 賞の広報を目的として、受賞作品の写真等、一部の資料を掲載・展示等に使用することがあります。
- (5) 受賞者には、翌年の賞の募集時や、JIA大会でのデジタル展示を目的として、10枚程度のPowerPointデータの提出を後日依頼致します。

JIA 環境建築賞応募に関する質問は、本部事務局の他 JIA 環境会議 支部担当委員も E メールにてご対応いたします。お気軽にご連絡ください。

【北海道支部】山本亜耕：ako.ao@dream.com
【東北支部】稲見公介：staff@173.org
【関東甲信越支部】長井淳一：junat@amber.plala.or.jp
【東海支部】笹野直之：naoyuki@sasanosd.com
【北陸支部】高屋利行：tak77@alpha.ocn.ne.jp
【近畿支部】古塚浩史：h-furutsuka@showa-sekkei.co.jp
【中国支部】木下正昭：kinoken@ms2.megaegg.ne.jp
【四国支部】新居照和：nivas@nii-architects.com
【九州支部】福田展淳：fukuda@kitakyu-u.ac.jp
【沖縄支部】金城 優：mk@jjo-ds.com

【お問い合わせ/資料送付先】

JIA 環境建築賞事務局（担当：北沢 / mail：saa@jia.or.jp）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 4F

TEL：03-3408-7125 / FAX：03-3408-7129